

入 選

みんなの幸せのためにできること

茨城大学教育学部附属中学校

一年 金 沢 青 空

「妹の命を奪った水。生きるためには飲むしかなかった」これは、テレビで流されたCM中の言葉です。

私にとっては深く考えたことがないくらい、安全な水があるのは日常です。水道をひねれば出てくる水。レストランでも店内で当たり前に出てくる水。安全な水が飲めることが普通である私にとって、衝撃的なCMでした。そこで、安全な水について調べてみようと思いました。

このCMのように、安全な水が飲めるのは、地域によって大きな差があります。世界には、およそ三人に一人が、安全な水を飲むことができていないそうです。また、不衛生な環境が原因で、毎日八百人

以上の人が命を落としているそうです。

給水処理が進んでいない地域では、家から遠く離れた場所まで、毎日、生活に必要な水をくみに行く女性や子供が多くいます。そのため、学校へ行くことができない子供が大勢いるそうです。文字が読めないまま、大人になる人。学校で自由に、友達と遊んだりできない人がたくさんいるんだと知り、さらに、ショックを受けました。

浄水処理を整備することで、水がもたらす良い効果が三つあります。

一つ目は、安全な水が飲めることです。給水所ができる、これまでおなかを壊していたり、命を落としていた子供たちが大幅に減ります。

二つ目は、病気にかかりにくくなることです。十分な量の水を使えるようになり、身の回りを清潔に保てるようになるため、衛生環境が良くなり、感染症にかかる子供も減ります。

三つ目は、学校に通える子供が増えることです。子供たちが水くみから解放され、学校に通えるようになるため、文字が読めたり、計算をしたりできる

ようになります。このことで、健康に生きるための情報を得ることができません。さらに、読書などを通して、将来への夢を持つこともできる人が増えるのではないのでしょうか。それから、上下水道の整備も進めば、トイレの普及が進み、より衛生的な環境の中で生活できると感じました。

ほんの一部ですが、世界の水の事情を知り、日本がなぜ、安全な水が自由に使えるのか、疑問に思い、調べてみました。

理由としては、三つ考えられます。

一つ目は、日本の水質基準がとても厳しいことです。例えば、大腸菌についてです。日本では検出されてはならないと定められていますが、他の国々ではそうではないようです。

二つ目は、日本のダムなどの貯水技術です。日本の川は、急で短いので、水が一気に海に流れ出てしまいます。そこで、ダムなどを作ることで、安定して水を利用できています。

三つ目は、水道料金の安さです。日本は、水道料金が、世界と比べて利用しやすい金額設定になって

いることがわかりました。このことで、日本全国に、水道の利用が広まりやすくなったと思います。

改めて、私自身が、安全な水をいつでも使えるめぐまれた環境にすることがわかり、ありがたく感じました。災害や水不足で、節水を呼びかけられていることは知っていましたが、普段から、水を大切に使用したいと思いました。

もっと、世界の水の事情について調べ、正しい知識を深め、世界に対して自分には何ができるのか考えていきたいです。また、日本がどのような経緯で、今のように水の環境が整えられてきたのか、勉強していきたいです。